

## 『古事記』における高天原

鄭家瑜\*<sup>1</sup>

### 要旨

『古事記』には六つの神話的世界として、「高天原」、「黄泉国」、「根之堅州国」、「葦原中国」、「常世国」、「綿津見神之宮」\*<sup>2</sup>が認められる。その中でも、「高天原」はいち早く『古事記』に登場するのみならず、用例数が最も多く認められる世界である。これは「高天原」が『古事記』の重要な概念であることを示しているよう。ならば「高天原」は如何なる性格と働きを有しているのか、またそれが他の五世界とどのように関連しているのか。この問題を考察することは、『古事記』研究において必要不可欠な作業と言わなければならない。

また、十一例存在する「高天原」に関する記述が、すべて「神代記」に登場することは注目すべきである。一方の「神代紀」本文には、「高天原」の用例が一例もなく、これによって記紀の相違は明らかだろう。

果たして『古事記』における「高天原」という概念は、如何に形成されるのか。この問題は天照大御神を中心にして、新しい神統譜を作成しようとしていた天武天皇の意志と密接な関係があると考えられるのである。

本稿では、『古事記』における「高天原」の性格と働きを詳しく検討し、高天原概念の確立の経緯などを検討していきたい。

キーワード：

高天原、天照大御神、天武天皇、天岩屋戸、天孫降臨

1 梅光学院大学日本文学専攻博士課程卒業。

2 本稿では綿津見神之宮が位置する海中の世界を、「綿津見神之宮」と称する。

## 『古事記』中的高天原

鄭家瑜\*<sup>1</sup>

### 摘要

『古事記』一書中，一共出現了「高天原」、「黃泉国」、「根之堅州国」、「葦原中国」、「常世国」、「綿津見神之宮」\*<sup>2</sup>六個神話世界。其中，「高天原」世界出現的時間最早，次數也是最多的，由此得知，「高天原」是『古事記』中非常重要的空間概念。究竟「高天原」具有什麼樣的特性？它在『古事記』一書中扮演什麼樣的角色？「高天原」與其他五個世界有著什麼樣的關聯性？這些都是研究『古事記』時所必須要深入思考的問題。

此外，在『古事記』的神代卷中一共出現了十一次「高天原」，但是在與『古事記』同期的另一部重要著作『日本書紀』的神代卷之本文中，卻完全沒有出現「高天原」的記載，為何有此現象，也是值得我們多加研究的部分。

究竟「高天原」的觀念是如何形成的呢？這個問題恐怕與天武天皇企圖建立出以天照大御神為中心之神統譜的意圖有密切的關係吧！

本論文將針對『古事記』中「高天原」的特性、角色加以詳細討論，並且探討「高天原」這一概念形成的經過。

關鍵字：

高天原、天照大御神、天武天皇、天岩屋戶、天孫降臨

<sup>1</sup> 梅光學院大學日本文學專攻博士課程卒業。

<sup>2</sup> 本論文將綿津見神(海神)所掌管的海中世界，稱之為「綿津見神之宮」。

## Takamanohara of 『Kojiki』

CHENG Chia - yu\*

Abstract

There were six mythical worlds in 『Kojiki』. Takamanohara appeared most in the earliest time among them. Hence, he seemed to be very important in the concept of mythical world in “Kojiki”. What kind of characteristic he had and the role he played in “Kojiki” after all? What was the connection between Takamanohara and the rest of five-mythical-world? All these points supposed to be deeply gone through during the research.

Furthermore, the role of Takamanohara was appeared 11 times in the Age of Gods Chapter of “Kojiki”. But there was no record of him found in the same Chapter of “Nihonnsyoki” text which was written in the same era of “Kojiki”. Why have this phenomenon? It is worth our studying some more too.

How was this conception formed on earth? The question would be in close interconnection with Emperor Tennmu who attempted to establish the record of myth mainly focused on Amaterasuomikami.

The thesis will discuss in details of the characteristic and the role of "Takamanohara" in "Kojiki". Also it will probe into the process how the the concept of Takamanohara formed.

Key words:

Takamanohara    Amaterasuomikami    Emperor Tennmu  
Amenoiwayado    Tensonkourin

---

\* Graduated from BAIKO GAKUIN University at March of 2005 year.